



135号 2010.3

図書館だより

中央図書館 川口 1-1-1	048(227)7611	前川図書館 前川 1-3-18	048(268)1616
新郷図書館 東本郷 1688	048(283)1265	横首根図書館 仲町 10-16	048(256)1005
戸塚図書館 戸塚東 3-7-1	048(297)3098	芝園分室 芝園町 3-17	048(269)2241
芝北文庫 [芝北公民館内]	048(227)7611		

パソコン用ホームページ URL <http://www.kawaguchi-lib.jp/>

携帯電話用ホームページ URL <http://www.kawaguchi-lib.jp/opw1/IMD/IMDMAIN.CSP>

携帯用 QR コード



わたしの今年の一冊 2009

昨年お読みになった本の中で印象に残った一冊をあげていただく「わたしの今年の一冊」は今回で15回目となりました。

たくさんのご応募をいただきましたが、紙面の関係で14点掲載させていただきます。ご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。

「40 翼ふたたび」石田衣良
講談社 2006 年刊 913.6/イ

ある一定の年齢になると妙に自分の過去が気になる時がある。そんな時は「過去に戻る」のではなく「過去を理解する」ことが大切だと思わせてくれる作品である。(40代 女性)

「あなた、それでも裁判官？」
中村久瑠美 暮しの手帖社
2009 年刊 289.1/ナ

良家の子女として大事に育てられた著者は学生時代に出会った裁判官と結婚。しかし夫からの暴力を受け、幼子を抱えて離婚。「法律を勉強して女性のために働こう」と決意して2年間で司法試験に合格。それから30年、今も弁護士として活躍中。(60代 男性)

「記録ミッドウェー海戦」澤地久枝
文藝春秋 1986 年刊 391.2/サ

1942年6月のミッドウェー海戦における日米両軍の戦死者の家族の声を纏めた作品。遺族の深い悲しみと、平和後の貧窮生活の様子がありありと書かれており、戦争は絶対にしてはいけないと思った。(50代 男性)

「最後の冒険家」石川直樹
集英社 2008 年刊 289.1/カ

熱気球に乗り太平洋横断を試みた冒険家・神田道夫。2004年に彼と共に気球に乗り込んだ著者がその冒険の結末と神田のその後の挑戦を描く。著者が感じた空の世界の広がりに対する驚きと師匠である神田への敬愛が伝わり、胸が熱くなった。(20代 女性)

「新参者」東野圭吾 講談社
2009年刊 913.6/ヒ

読みやすく一話ずつ気楽に読めた。彼の本はややもすれば理科系の頭が痛くなるような図式が入るが、この本は楽に読めた。(60代 女性)

「通訳ダニエル・シュタイン 上・下」
リュドミラ・ウリツカヤ
新潮社 2009年刊 983/ウ

今年のノーベル文学賞にノミネートされた。ユダヤ教よりカトリック神父へと苛酷な人生を、通訳を通して愛情・寛容・勇気で貫いた実在小説。感動的だった。(60代 女性)

「ハチはなぜ大量死したのか」
ローワン・ジェイコブセン
文藝春秋 2009年刊 646.9/ジ

これは科学ノンフィクションである。北半球から1/4のハチが消えた。その数300億匹である。養蜂は、ハチミツを取るだけでなく、果実の受粉を必要とする農業にとっても重要である。これは環境問題の書でもある。

(50代 男性)

「編集者を殺せ」レックス・スタウト
早川書房 2005年刊 933.7/ス

蘭と美食を愛する安楽椅子探偵のネロ・ウルフが部下のアーチャーと容疑者たちの話から真実を見抜く。アーチャーの主演ばりの活躍と軽快な語り、ウルフとの絶妙なやりとり。母子ともどもすっかり魅了され、全ウルフものを読破しました。今後の刊行を、首を長くして待っています。

(40代 女性)

「旅する力」沢木耕太郎 新潮社
2008年刊 915.6/サ

沢木さんが若い頃にバスを使ってユーラシア大陸を旅した話や、何十年も経ってからその旅をまとめた本を書いた話が、旅と本が好きな私には今年1の本となりました。

(20代 女性)

著者の『深夜特急』に多くの若者が触発されて旅に出た。数十年後の今、その旅を振り返りつつ、改めて自分の人生との関わりを探ったのが本書である。鮮やかでかつ胸に迫る描写が続く。そして旅に新鮮な感覚を備えた20代にしか出来ない旅があるという著者の認識に私は同感する。(60代 女性)

「ペギー・スー」セルジュ・ブリュソロ
角川書店 2002年刊 953.7/ブ

仲間とともにがんばるペギーがとても素晴らしかった。この本を読んで、私もペギーのような勇気のある素敵な人になりたいと思った。

(10代 女性)

「またの名をグレイス 上・下」
マーガレット・アトウッド
岩波書店 2008年刊 933.7/ア

2008年に出版された本ですが今年になって図書館で借りて読みました。訳も上手いのですが、主要2人物、グレイスとサイモンそれぞれの心理を描いて全く飽きさせない語り口は見事だと思います。

(30代)

「マルクスは生きている」不破哲三
平凡社 2009 年刊 134.5/マ

世界を席卷した大恐慌も、
すでにマルクスが彼の著書の中
で「死に至る病」と言っていた
など、先人の予見のすばらしさ
を読みとりました。
(60代)

「ロシア文学の食卓」 沼野恭子
日本放送出版協会 2009 年刊 980.4/又
ロシア文学の中でもおいし
そうなお料理が出てくる本が
紹介されていて、もちろん物
語もおもしろいのですが、料
理も気になるものばかり。こ
の本を読んだ後はロシア文学
を読むのが先か、ロシア料理
を食べるのが先か・・・と迷
うことでしょう！

紙面の関係で、お寄せいただいた感想のすべては、掲載できませんでした。
書名だけでも、次にご紹介させていただきます。

「14 歳いない子」ヨヅキ	「アイルランドがわかる本」宗形美樹	
「あたしんち」けらえいこ	「アダムスキー全集」ジョージ・アダムスキー	
「ウラ金融」青木雄二	「鬼平犯科帳シリーズ」池波正太郎	「オモテ金融」青木雄二
「ガザの悲劇は終わっていない」土井敏邦	「カリスマ先生の地学」垣内貴志	
「神と科学は共存できるか？」スティーブン・ジェイ・グールド	「カルト漂流記オウム篇」早見慶子	
「草枕」夏目漱石	月刊「歴史読本」	「剣客商売シリーズ」池波正太郎
「原始爆弾とキリスト教」栗林輝夫	「仕掛人・藤枝梅安シリーズ」池波正太郎	
「小説 僕の初恋をキミに捧ぐ」青木琴美原作/橋口いくよ		
「真実(ホント)は損するオール電化住宅」船瀬俊介	「新選組流山顛末記」松下英治	
「新選組十番組長原田左之助」菊池明	「神変関ヶ原1~3」伊藤浩士	
「造花の蜜」連城三紀彦	「中東のゲッターから」重信メイ	「鍋の塩」杉山春代
「日本鉄道旅行地図帳」今尾恵介監修	「遙かなり真珠湾」阿部牧郎	
「パレスチナ人の歴史」D.ギルモア	「ヒトラーの青年時代」藤村瞬一	「婦系図」泉鏡花
「魔女狩り」浜林正夫 井上正美	「武蔵野」国木田独歩	「楊令伝」北方謙三

お読みになりたい本が見あたらない時は、どうぞカウンターへお申し出ください

中央図書館・メディアセブン来館者500万人達成

中央図書館は平成22年1月26日に来館者500万人を突破いたしました。平成18年7月の開館以来、幅広い年齢層の方々にご利用いただき、3年7ヶ月での達成となりました。

500万人目の来館者の方には、記念の花束を贈呈いたしました。
今後とも皆様のご利用をお待ちしています。

川口市立図書館カレンダー

中央の休館日： 数字の日、

前川・新郷・横曽根・戸塚・芝園の休館日： 白黒反転の日

3月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

4月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

5月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

春期図書特別整理休館・・・ 戸塚：3/2(火)～5(金)・前川：3/9(火)～12(金)

「図書特別整理期間」とは??

川口市立図書館では、中央図書館で年に1回、地域図書館では年に2回、それぞれ4日間程度の「特別整理期間」を設けています。この期間中、図書館では「蔵書点検」を行っています。

「蔵書点検」とは、行方不明になっている資料や返却漏れの資料がないか、本来あるべき場所に正しく資料が並んでいるかなど、1冊1冊、バーコードやICタグを読み取り、蔵書データと照らし合わせる点検作業です。また、点検により見つかった破損資料の修理や、普段資料が並んでいる時にはできない棚の清掃なども行います。

整理期間中はご不便をおかけしますが、図書館にとって必要不可欠な作業期間です。

皆様のご理解とご協力をお願いします。

尚、休館中の図書館のブックポストに返却された資料は、次の開館日に返却処理を行います。そのため、返却されたその日には、返却扱いにはなりません。余裕を持ってお返しくくださいますようお願いいたします。

<p>開館時間『中央』 平 日 = 午前10時～午後9時 土・日・祝日 = 午前9時～午後6時</p> <p>『前川・新郷・横曽根・戸塚』 平 日 = 午前10時～午後6時 土・日・祝日 = 午前9時～午後5時</p> <p>『芝園』 平 日 = 午後1時～午後5時 土・日・祝日 = 午前10時～午後5時</p> <p>『芝北』 火・金・土 (芝北公民館の休館日を除く) = 午前10時～午後5時</p>
--